

歯科放射線診療ガイドライン委員会第4回会議議事録

日時：2007年（平成19年）5月10日（木）9:00～10:00

場所：大宮ソニックシティ6階会議室

出席者：佐野 司，庄司憲明，中山英二（敬称略・順不同），林 孝文
岡野友宏理事長陪席

報告事項：

1. インプラントの画像診断ガイドライン（案）について
 - ・ 委員長より、前回（第3回，2007/3/24）の議論を受けて修正し、歯放理事MLに公表した070401版について、さらに若干の修正を行って070503版に更新した旨の報告があった。
 - ・ 委員長より、平成19年度第1回理事会（2007/4/21）において、外部委員の選出を執行理事会に依頼した旨の報告があった。また、理事会では時間の制約があったためガイドライン（案）に対する意見等については、メールにて委員長に通知いただくことを確認した。なお、本日までにメールによる意見は1件（検索対象にSDCTを含めているか）のみであった。

審議事項：

1. インプラントの画像診断ガイドライン（案）の修正について
 - ・ 上述のSDCTの件については、担当の筑井委員を中心としたメール審議ならびに本委員会での審議の結果、ガイドライン策定作業においてMDCTとSDCTを特に区別して検索してはならず、エビデンスレベルからみて特に区別する意義は少ないと判断したとの見解となった。
 - ・ 被曝については審議の結果、総論的に歯科エックス線撮影における被曝について一般向けの解説と資料を添付することとし、特にCTでの総論的な面については「脳血管障害画像診断のガイドライン；頭部CTの被曝」を参照いただくこととした。
 - ・ インプラントCTの被曝については、撮影条件に十分なエビデンスのない現状では、ガイドラインの視点からはそれ単独の項目として信頼に足るデータ提示ができないため、継続審議とし、必要に応じて改訂版で掲載していくこととした。
 2. 「インプラントの画像診断ガイドライン」の意見聴取について
 - 1) 第11回臨床画像大会（2006/10/28）にてご指摘いただいた点に留意し、翌日の日歯放総会での委員会報告（2007/5/11）での発表後、第一版として早急に意見聴取のための会員への公表を行なうこととした。
 - 2) 公表の方法としては、以下の方法を確認した。①webページの整備（新潟大）、②「ニューズレター」へのwebアドレス掲載・日歯放webページにリンク設定（広報関係）、③体裁を整え「歯科放射線」へ掲載、④東邦大学のMindsへのリンク依頼
 - 3) 日歯放総会での委員会報告（2007/5/11）では、会場より以下のような意見をいただいた。
 - ・ 対象を明確にすべきである（歯科医師か一般市民化か、等）。
 - ・ 診断目的のガイドラインにおけるエビデンスレベルについては、「検査の有用度の階層分類（E1～E6）」などの方が適するのではないか。
 - ・ Clinical questionsのタイトルは質問形式にすべきではないか。
 - ・ CTを使用しなかった場合の患者の受けるデメリットについてのエビデンスも示すべきではないか。
- なお、この委員会報告でのディスカッションの際、会員から意見を聴取する期限を5月末とする案を委員長が呈示した。

3. 今後のスケジュールについて
 - 1) 「インプラントの画像診断ガイドライン」に対する意見聴取のための公聴会の開催について岡野理事長を交えての討議の結果、インプラント関連の学会と日程を合わせ、歯科放射線学会として場所を確保して開催する方針となった。
 - 2) 今後の他の疾患における画像診断ガイドライン項目立てについては、委員の増員を前提に継続審議とすることとした。

以上

文責：林 孝文